

委員会報告

2017～2018年度

No.1

第 6 回		委員会名	環境委員会			
		委員長名	L 佐藤 剛			
開催日時	2018年 1 月 15 日 水曜日 15 時 45 分 ～ 17 時 30 分					
開催場所	キャビネット事務局会議室					
出席者	×	細川地区ガバナー		今井第1副地区ガバナー		伊賀第2副地区ガバナー
	○	L 佐藤 剛 委員長	○	L 中川喜美枝副委員長	○	L 村上隆信 副委員長
	×	L 宮澤 勇 副委員長	○	L 蒲生 強 副委員長	×	L 高倉 倫明 委員
	×	L 浅賀 宗 委員	×	L 中山 進 委員	○	L 小林 良吉 委員
	×	L 島田 芳子 委員	×	L 森田 浩司 委員	×	L 櫻井 秀敏 委員
	○	L 小林 正治 委員	×	L 加藤 陽介 委員		
出席オブザーバー						
×	L 田中 則雄 SPA	×	L 中島 彰良 SPA			
×	L 江野上 孝一 副幹事	×	L 半谷 英治 副会計			
次 第	司会・進行 L 中川喜美枝 副委員長					
	1	佐藤剛委員長挨拶				
	2	審 議 別紙議題による				
	3	次回開催確認				
	4	閉会の挨拶(L小林正治委員)				
	5	懇親会				
	6					
議 題	審議経過事項の概要					
	1	高尾山環境保全基金協力会・合同アクティビティについて				
	2	八王子100周年 植樹について				
	3	「エシカル消費」について				
	4	第7回委員会の開催日				
次回開催日時	2018年 2 月 14 日 月曜日 15 時 45 分 ～ 17 時 30 分					
開催場所	キャビネット事務局会議室					
	作成者			L 中川喜美枝		

議 題	審議経過事項の概要
1	<p>高尾山環境保全基金協力会・合同アクティビティについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内書を1/15に発信 日時：2月5日(月) 午前10時 雨天決行 集合場所：高尾山ケーブルカー乗り場 清滝駅 会費：5000円(当日集金)ケーブル往復 精進料理 飲み物代含む ・老朽化したベンチを、安全安心に観光客や登山者が利用できるように改修 内容：ベンチ設置記念除幕式 → ゴミ拾い → 看板の清掃 薬王院本堂祈祷：12時30分～ 懇親会 会場：大本山高尾山薬王院(精進料理) * 環境委員会メンバーは、9時30分に集合 受付・ゴミ拾い・看板の清掃を手伝う。
2	<p>八王子100周年 植樹について</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時：2018年 3月 10日(土) 場所：片倉つどいの森公園(東京都八王子市片倉町3506) ・植樹方法について 現地の写真を見ながら、植樹の苗木の種類、植栽デザインを検討された。 ・記念石碑について ベンチスタイルの石碑デザイン画を確認した。 次回の委員会で、記載する標語を検討する。 * 2月5日の高尾山合同アクティビティの後に、現地の下見をすることになった。
3	<p>「エシカル消費」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 細川ガバナーから環境委員会に諮問があり、年次大会でのパンフレットに、その旨が語られていると、佐藤委員長から説明があった。 エシカル消費についての資料を読んで、理解した。(別紙参照) 個人・企業・ライオンズクラブが出来ることを考えていきたい。
4	<p>次回の委員会開催予定日</p> <ul style="list-style-type: none"> 2018年 2月 14日(水)15:45～ キャビネット事務局会議室 2018年 3月 5日(月)16:00～ ルノアール貸会議室 新宿3丁目ビッグスビル

エシカルな消費とは？

私たちは日々、何かしら消費をして生きています。食料、洋服、エネルギーなど1日の生活を振り返ってみても、多くのモノを消費しています。では、それらが**誰の手によって、どこで、どのように作られたか**、考えたことはあるでしょうか？自分で意識的に調べない限り、それを知ることはありません。

けれども、私たちが消費しているモノの生産背景を知ることとは、とても大事なことです。なぜなら、それが世界中で今緊急課題とされている、「**貧困問題**」「**人権問題**」「**気候変動**」を解決するための、大事なきっかけとなるからです。

これらの問題は先進国の人々が大量生産、大量消費を繰り返してきたことによって、社会的に立場の弱い生産者が搾取され、貧困に喘ぐ状況が生み出されたり、地球の再生能力よりもはるかに早く、有限な資源を使い果たし環境を破壊しているのです。

◆私たちが考えるべき消費のあり方

今まで私たち消費者は「**貧困問題**」「**人権問題**」「**気候変動**」は個人の問題ではなく、企業や社会の問題だと思って目をそらしてきてはいなかったでしょうか。

世界で起きている、深刻な問題を消費者として解決するひとつの有効な手段として「**エシカル消費**」があります。エシカル消費とは、「人と社会、地球環境のことを考慮して作られたモノを購入あるいは消費する」という意味です。実は私たち消費者は、日々の買い物を通じて、世界に影響を与える力を持っています。

コットンを一例に挙げていえば、発展途上国の小規模農家がオーガニックコットンを育て、それを買い手が適正で公正な値段で購入することにより、農家の生活改善と自立が支援され、農地の環境も破壊されることがなくなります。この仕組みをフェアトレードと言います。フェアトレードもエシカルな消費のひとつです。フェアトレードによって生産されたオーガニックコットンを私たち消費者が選ぶことが、エシカルな消費になるのです。

◆エシカル消費の具体例

- ・環境に配慮された消費
- ・人・社会に配慮された消費
- ・地域に配慮された消費

◆消費者として私たちができるエシカル

私たち消費者が力の大きさを認識し「買う」という行為をしっかりと考えて行うことが大切です。（事例）

- ・長寿命でエネルギー効率の良いLED電球を選ぶ
- ・燃費の良いエコカーを購入する
- ・太陽光パネルの付いた省エネ住宅に住む
- ・風評被害にあっている地域の農産物を購入する
- ・地元の農家さんから、直接オーガニック野菜を購入する
- ・フェアトレードと呼ばれる公正な貿易によって適正価格で輸入されたバナナやコーヒー、チョコレート、紅茶などを購入する
- ・オーガニックコットンで作られた洋服を着る